



北海道における 国際会議等誘致の取組

平成25年7月31日（水）

北 海 道



1 国際会議等の北海道開催の推進について



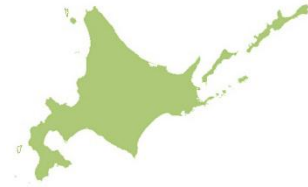
◆ 閣議了解と政府の支援

国際会議等の北海道開催の推進について

平成20年7月4日
閣議了解

- 1 本日閣議決定された「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」においては、「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」を戦略的目標のひとつとして掲げ、北海道洞爺湖サミットの開催等を活用し、国際会議や国際的な規模で開催される行事の誘致を促進することとされている。
北海道では、サミットの開催を契機に、従来から進めてきた国際会議等の誘致の取組を強化することとしており、政府としても、新たな北海道総合開発計画を着実に推進する観点から、北海道による取組の強化に応じて今後必要な支援を行っていくこととする。なお、民間の国際会議等の北海道開催につき、民間にも協力を求めていくものとする。
- 2 上記の必要な支援を行っていくために、各省庁連絡会議を設け、所要の調整を行うこととし、その庶務は国土交通省において処理する。

2 誘致体制等



◆ 官民一体の「北海道国際会議等誘致推進会議」を設置

（目的）

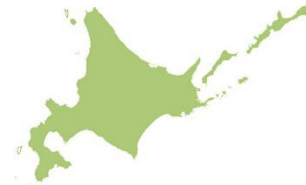
推進会議は、北海道の活性化に資するため、サミットの開催によって高まった北海道の知名度や培われたノウハウ、官民協働の機運を活かしながら国際会議等の誘致に積極的に取り組むことを目的とする。

（構成団体）

北海道、札幌市、北海道市長会、北海道町村会、北海道経済連合会、
（社）北海道商工会議所連合会、北海道経営者協会、
北海道経済同友会、（社）北海道観光振興機構、
北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、
北海道漁業協働組合連合会

（顧問）

北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局



3 これまでの誘致成果

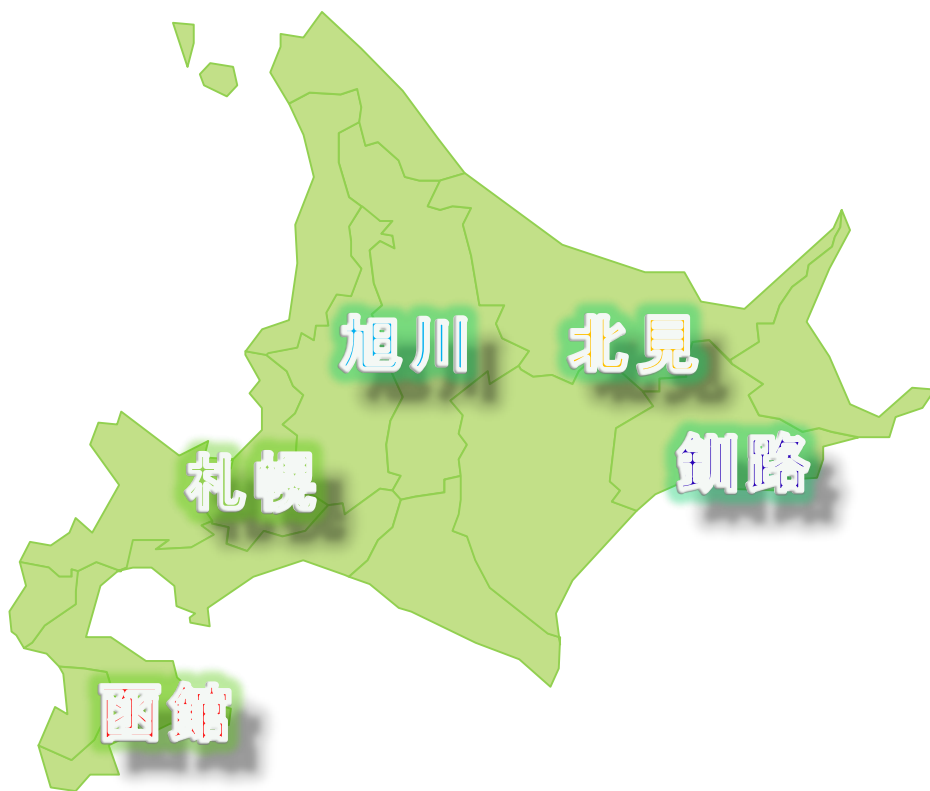
◆ 北海道洞爺湖サミット以降における国際会議の開催状況

- | | |
|---|------------|
| (1) 第1回G8水と衛生に関する専門家会合 (H20.12.16~17 帯広市) | <外務省> |
| (2) 第5回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議 (太平洋・島サミット)
(H21.5.22~23 占冠村) | <外務省> |
| (3) 第8回日豪観光交流促進協議 (H21.6.1~2 ニセコ町) | <観光庁> |
| (4) 第7回日ASEAN次官級交通政策会合 (H21.6.15~19 函館市) | <国土交通省> |
| (5) 第12回日中韓三カ国環境大臣会合 (H22.5.22~23 千歳市・苫小牧市) | <環境省> |
| (6) 2010年日本APEC貿易担当大臣会合 (H22.6.5~6 札幌市) | <外務省> |
| (7) 第15回日・オーストリア21世紀委員会 (H23.5.22~23 小樽市) | <外務省> |
| (8) 第5回日中航空政策対話 (H24.6.13~15 釧路市) | <国土交通省> |
| (9) 第13回北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム
(H24.10.8~9 小樽市・札幌市) | <国土交通省> |
| (10) 第27回日韓観光振興協議会 (H24.10.28~30 函館市) | <観光庁> |
| <民間系国際会議> | |
| (1) 第8回日中韓賢人会議 (H25.7.7~8 洞爺湖町) | <日本経済新聞社> |
| (2) 第4回日中韓ユース・フォーラム (H25.9.16~20 (予定)) | <日本国際連合協会> |

4 本道の優位性（1） ～サポート体制～



◆ 北のおもてなしで魅力あふれる国際会議の開催をサポート



北海道コンベンション誘致推進協議会

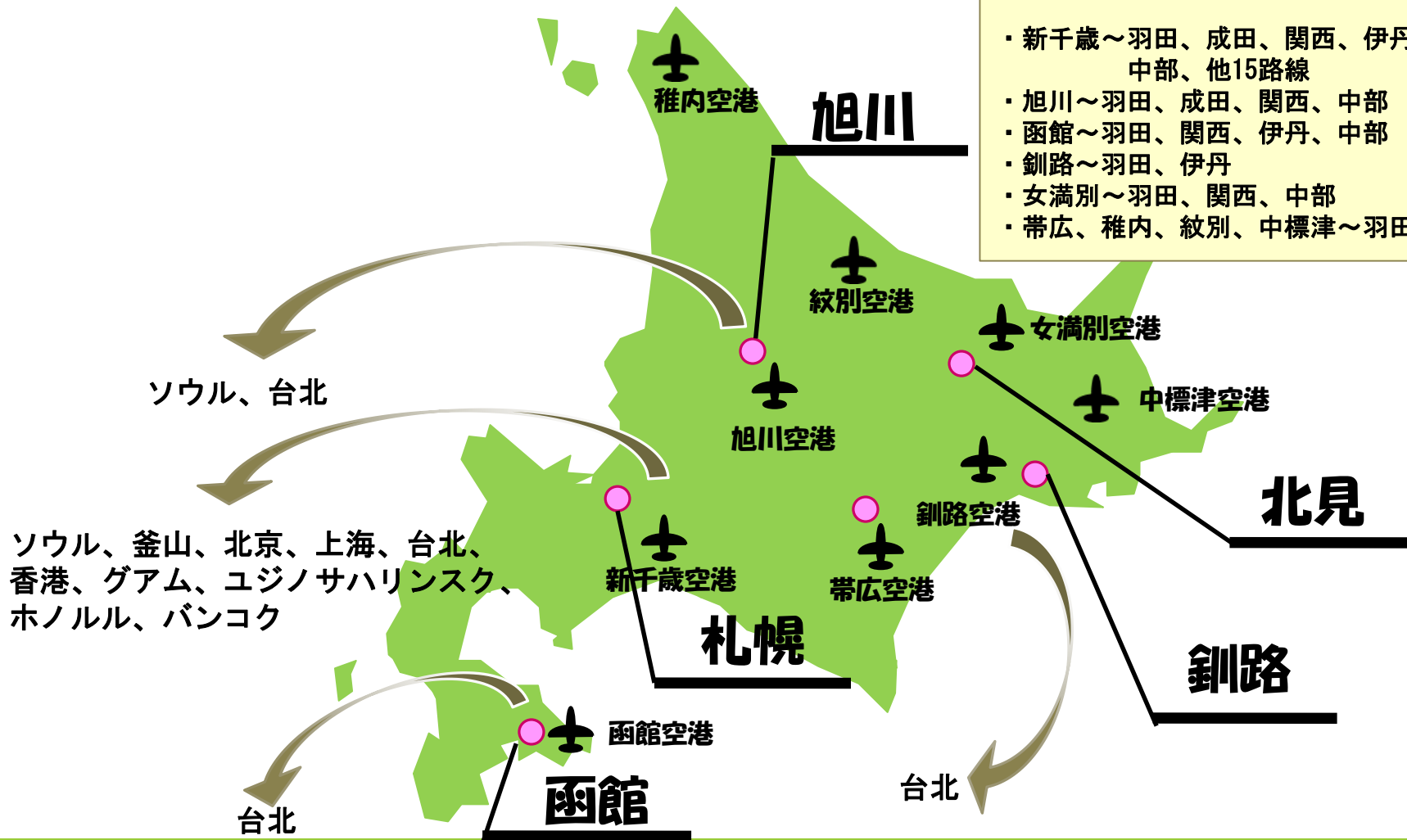
- (公財) 札幌国際プラザ
コンベンションビューロー
- (一社) 旭川観光コンベンション協会
- (一社) 函館国際観光コンベンション協会
- (一社) 釧路観光コンベンション協会
- 北見市観光協会連絡協議会

4 本道の優位性（2） ～交通アクセス～

◆ 道内空港に発着する国際定期航空路線が14路線

【道内主要空港からの国内定期空港路線】

- ・ 新千歳～羽田、成田、関西、伊丹、神戸中部、他15路線
- ・ 旭川～羽田、成田、関西、中部
- ・ 函館～羽田、関西、伊丹、中部
- ・ 釧路～羽田、伊丹
- ・ 女満別～羽田、関西、中部
- ・ 帯広、稚内、紋別、中標津～羽田



4 本道の優位性（3-1） ～多様な施設～



◆ 道内各地に国際会議等の開催に適したコンベンション施設が立地



札幌コンベンションセンター



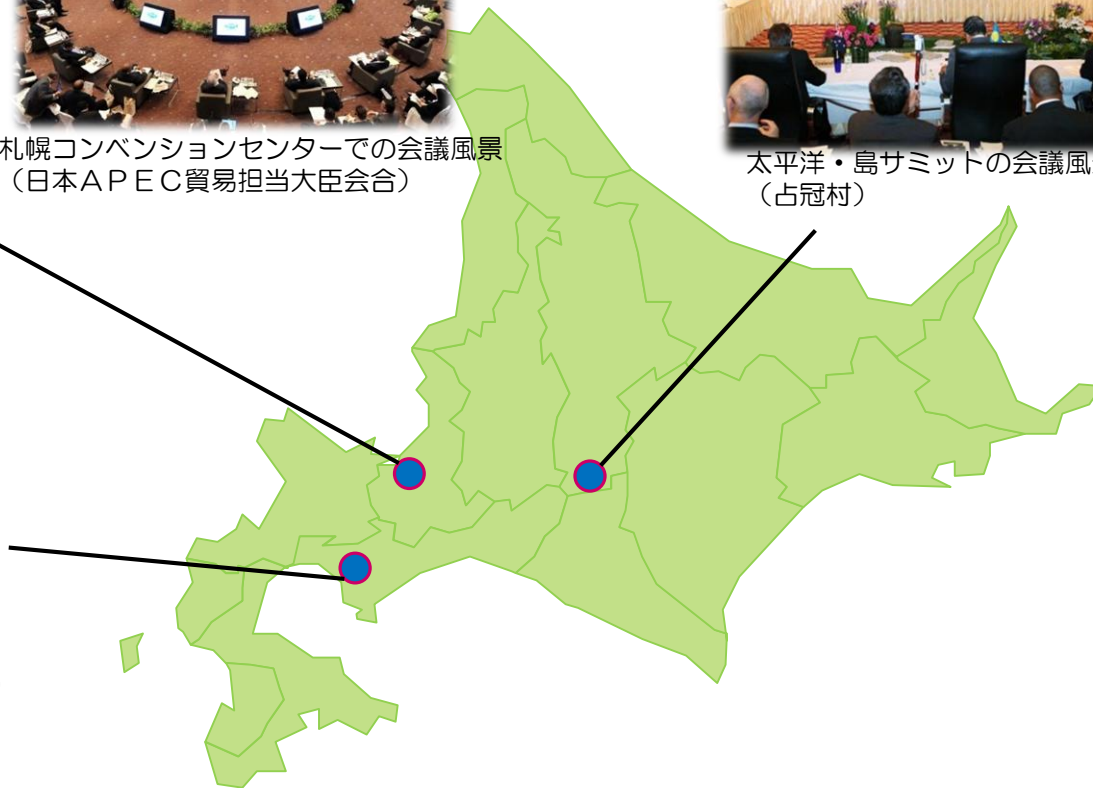
札幌コンベンションセンターでの会議風景
(日本APEC貿易担当大臣会合)



太平洋・島サミットの会議風景
(占冠村)



日中韓賢人会議の会議風景（洞爺湖町）



4 本道の優位性（3-2）

～多様な施設～



◆ ユニークベニューの活用

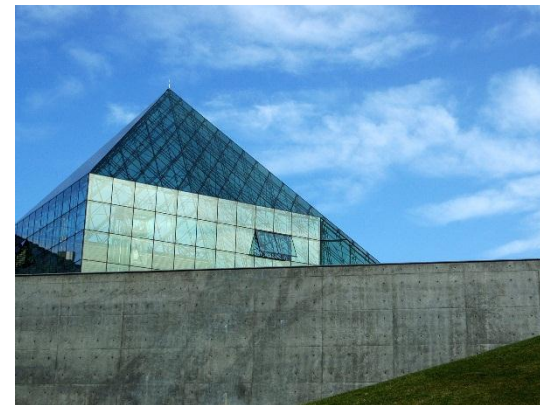
■ 函館山ロープウェイ山頂施設(函館市)

函館山山頂から望む市街地の夜景は、香港、ナポリと並ぶ世界三大夜景の一つ。夜景を眼下に思い出に残るレセプションパーティーが可能。



■ モエレ沼ガラスのピラミッド(札幌市)

世界的な彫刻家イサム・ノグチにより設計された、全体を一つの彫刻としたモエレ沼公園内にあるガラスのピラミッドでは、緑とピラミッドの調和した幻想的なレセプションパーティーを演出。



4 本道の優位性（4-1） ～食・自然・文化～



◆ 国際会議等での北海道の食・自然・文化の発信



道産食の発信イベント（日本APEC貿易担当大臣会合）



アイヌ舞踊の披露（日中韓賢人会議）



YOSAKOIソーランの演舞（日中韓賢人会議）



雪だるまによる歓迎（太平洋・島サミット）

4 本道の優位性（4-2）～食・自然・文化～



◆ 世界に誇る自然・文化遺産



洞爺湖有珠山ジオパーク



知床海岸

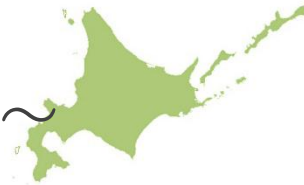


「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」
(伊達市：北黄金貝塚)



釧路湿原

5 国際会議関連情報の提供～ウェブサイトで多言語発信～



◆北海道コンベンションガイドによる情報提供

<掲載情報>

- ①「Why Hokkaido」
(北海道の国際会議開催地としての
魅力、優位性)
- ②コンベンション施設・宿泊施設
- ③市町村情報
- ④コンベンションビューロー
- ⑤開催サポート

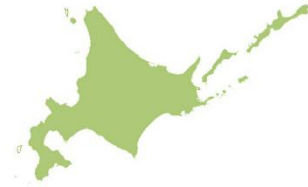
◇対応言語

日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、
韓国語、ロシア語

◇URL

<http://www.hiecc.or.jp/hcg/>

国際会議の開催は、是非北海道で



(問い合わせ先)

北海道総合政策部知事室国際課
(担当: 船木、牧方、高橋、高島)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL: 011-231-4111 (内線21-214)